今暁横濱港外は物々しき警戒

米國のI・W・W會員 志村捨松氏の歸朝に

四日[ink blot]商船會社のシヤートル丸は、南米ロスアンゼルスより横濱港外に到着するや、神奈川縣高等課の佐藤警部以下横濱水上署員十數名が、物々しく港外で乗込み船客全部の取調を開始し、

同船に 間もなく三等船客中からカーキ色勞働服に、同じ色の鳥打帽を眼深に被り「懺悔の生活」と題した小冊子を抱えた年齢四十歳前後風丰賤しからざる一名の男を、事務長室に拉致し來り十餘分間に亘り佐藤警部自ら取調べた後、直に用意の水上署汽艇に同人の携帯品と覺しき

數箇の トランク諸共便乘せしめ、同警部以下刑事二名附き添ひ、港外から水上署前で上陸せしめ、一路九時三十分櫻木町驛發省線電車で上京した、右に關し縣警察部では一切を秘密に附し言明しないが、シヤートル丸事務長の談に依れば、同人は實業家志村源太郎氏の親戚に當る東京府下西大久保二十二商學士志村捨松(三七)氏で

同人は 早稲田中學東京高商を卒業後、一時志村氏經營の鳥取縣下水鉛鑛山に勤務して居たが、大正六年四月渡米して何故かロスアンゼルスで勞働者となり、間もなくユタ鑛山に渡つて鑛山生活を續ける中例のI・W・Wの會員となり、偶々本年八月サンピードロに起つた同盟罷業の際捨松氏は之れが運動に從事したと云ふので同地官憲に

捕はれ サンピードロ監獄に投ぜられた、未決中の者であつたが、今回歸國を條件として釋放され、同船で歸國したものであるが、決して追放や送還されたものでない、航海中事務長は三四回同人に會談したが、熱心な基督教信者で、相當學識あり立派な人格者で、日本の警察が大騒ぎする程の危險人物ではないと語つた、

身柄を 高等課では警視廳に引繼ぐと共に、捨松氏の携帯品トランク數箇に對しては横濱税關と協力して嚴重檢査中である(横濱四日電話)

昨夜某所にて 志村捨松氏

會員に なつた譯です 働いてゐるうちに例の炭坑夫大罷業でせう、然しユタには炭坑勞働組合員が居りませぬので私共の働いてゐる炭坑は罷業に參加はしませんでしたが其罷業の終ると直ぐ一部の鐵道員罷業があつたりしまして、現在米國資本主義の專横露骨なのと勞働者の立場とを照合せて勞働者の團結が必要だと思つてオルガナイザーを募りに奔走しましたがなかなか甘く行きませんので、誰ぞ先達になる女性宣傳者を得たい考へで

加州に 入つたのが災難の始まりです、自分の注意が足らなかつたのか、風體がびざかつたのか忽ち捕はれて了つて、官憲が調べて見るとアイ・ダブ・ダブの會員ではあり、荷物の中に宣傳の文書があつたのでサンピートル監獄に四十日程拘禁され、裁判の結果では州法に依り一年以上十五年以下の懲役になるところでしたが、加州にゐた友人の山田法學士夫妻や其他が心配して

官憲に 奔走して吳れたので結局自分は闘はぬやうなものの折角の友人の厚意を無にするのも氣の毒と思ひ妥協して歸國したわけです、もう貧乏しましたので散々友人に厄介をかけて歸つた末です、ハ、、、、然しネ精神けはまだ健全ですよ、この信仰は沮喪せしめないのです、これからどうするかなぞと將來の方針は定めて居りませぬがナニ、この筋肉を呵して大に

奮闘し ますよ基督はさういつたでせう「明日の事を思ひ煩ふ勿れ、一日の苦勞は一日にて足れり」と私は今度のやうな災難で閉口する稍意志の弱い男ぢやないつもりです、ハ、、、」と眉を掲げ、意氣大に旺なものがあつた

社會主義の宣傳ビラ撒布

五日午後六時市内電車早稲田終點附近下戸塚一四二ソバ屋高知屋に社會主義者十五六名が會合し來る七日露國革命記念日を前に宣傳ビラを分ち立去つた後で淀橋署が探知し警視廳をはじめ各署は警戒中であるが同夜早稲田大學付近から同區山吹町にかけ同宣傳ビラを撒いた岩田重吉(二四)町田算(二三)飯田某(一九)を早稲田署は取押へ檢束したほ十二時近くに至り高津正道氏妻たよ子をも同署に檢束し四千餘枚の宣傳ビラを押收取調中である

志村もけさ歸朝

船が横濱に着くと竹内と共に警視廳へ

四日未明横濱入港の大阪商船シヤトル號で志村前勸銀總裁の甥なる山梨縣人志村捨松(三七)大阪市東區天王寺竹内一郎(二七)の兩名が

歸つて來た 兩人はアメリカのアイ・ダブリユー・ダブリユーの組合員で先頃の炭坑同盟罷業に加はり演説等をしたのでアメリカを放逐されたものであるといふ神奈川縣高等課及び水上署では同船が港外で檢疫を濟ますと直に兩人を水上署のモーターボートで新港岸壁に上陸し

警視廳に同 行した岸壁には志村の弟秀治竹内の妻三三(二五)等が出迎へたが其筋の警戒が嚴なる爲め兩人とも一言の挨拶も出來なかつた(横濱)

不穏文書を携へ 田口突如入京す

警視廳が狼狽し目下嚴重に取調べ中

内務省警保局當局が赤化の東漸を警戒してゐる矢先き昨三日朝田口運吉(三七)が東京驛に姿を現し神田連雀町[illegible]城屋旅館に落着き早速内地人社會主義者間に向かつて

赤化運動を 開始せんとする樣子であつたのを警視廳特別高等で探知し非常に狼狽し昨夜六時頃同人を引致し日比谷署にて本廳の山田特高係長が一應取調べた上尾行を附し一旦歸館せしめたが今朝八時再び引致し嚴重取調べを續けて居るが同人は新潟縣新發田生れで五年前新潟高等學校を卒業すると直ちに

米國に渡り 例の片山潜氏と共に全米に亙つて赤化宣傳につとめ昨年春ロシア共産黨員で勞農政府等の招きに應じてモスクヴアに渡り爾來露本國及シベリア等を往來して盛に主義宣傳に盡して數回の共産主義者大會にも出席し本年六月頃には片山氏と共に

チタにも來 た事があつたが今から二ケ月前にチタを出發しハルビン長春大連等を經由して一日夜長崎に上陸し三日朝東京に着いたもので彼れの携へて居たトランクの中にはロシア共産黨に關する多數の不穏書類が詰められてあつた外多額の金迄も持つて居るので或は共産黨本部から受とつて來た運動費ではないかとの嫌疑で取調中である

赤化防止と無政府主義

米村對大杉の立會演説

近頃出來た赤化防止の米村[illegible]郎氏等は無政府共産主義の大杉榮岩佐作太郎氏等と立會演説を試むべく四日午前警視廳に正力官房主[illegible]を求めたが警視廳としては屋内演説の程度で許可する方針だと(東京電話)